

短大協発第17065号
平成17年6月25日

理 事 長 殿
学 長 殿
教 務 担 当 者 殿

日本私立短期大学協会
会 長 川 並 弘 昭
教 務 研 究 委 員 会
委員長 坂 田 正 二

平成17年度「私立短大教務担当者研修会」開催について（通知）

首題の研修会を、別記要領により開催いたします。

学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学関係教職員のご参加を賜りたくご通知申し上げます。

同封書類

1. 平成17年度「私立短大教務担当者研修会」実施要領
2. 研修会参加費納入及び参加申込方法について
3. 研修会「参加申込書」（総括票）〔別紙Ⅰ〕（クリーム色）
4. " （個 票）〔別紙Ⅱ〕（若草色）－2部－
5. 参加費振込用紙（4枚綴り）

参加申込〆切期日

平成17年7月22日（金）必着

平成17年度「私立短大教務担当者研修会」実施要領

主催 財団法人私学研修福祉会
協力 日本私立短期大学協会

研修会の目的	短期大学で教務を担当する方が、各自の日常の職務を積極的かつ創造的に遂行すると同時に、今後さまざまな変化が予想される我が国の高等教育の将来を展望し、その変化に的確に対処する能力を涵養し視野を広げるため、当面する諸問題について研修することを目的とします。
開催期日	平成17年10月12日(水)～10月14日(金)の3日間
会場	「大阪ガーデンパレス」 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-3-35 ☎ 06-6396-6211 (代表) ＜後掲「会場・交通案内図」参照＞
参加資格	私立短期大学の教職員で、教務を担当する方を原則としますが、他部署の方も参加できます。
研修内容	本研修会は、『第1部：講演及び事例報告』『第2部：グループ別研修』で構成します。 第1部・第2部ともに参加することを原則としますが、学内都合等による場合は、第1部のみの参加も可能です。
■第1部■	【講演Ⅰ】 「第三者評価とこれからの短期大学」(仮題) —(財)短期大学基準協会の第三者評価が目指すもの— 坂田正二氏 (財)短期大学基準協会副理事長(広島文化短期大学理事長・学長) 【講演Ⅱ】 「(財)短期大学基準協会の第三者評価を受けるにあたって」(仮題) —自己点検評価報告書作成への取組み— 山下達哉氏(東京富士大学短期大学部教授) 【講演Ⅲ】 「我が国の短期高等教育の将来像」(仮題) —新時代における教養教育のあり方について— 文部科学省 高等教育局大学振興課長(予定)

■第2部■

【 シンポジウム 】

「短期大学の更なる活性化を目指して」

一特色ある教育支援プログラム採択事例・

現代的教育ニーズ取組み支援プログラム採択事例より一

- ・ 特色G P 採択校
- ・ 現代G P 採択校

【 グループ別研修 】

(助言者：文部科学省高等教育局大学振興課 担当官)

【テーマA】 短期大学設置基準と教務運営上の諸問題について

短期大学設置基準等の改正に伴い、学則や学内諸規程を整備していくうえで問題となる事項、短期大学における教務運営のあり方等、教務をめぐる諸問題について検討します。

このグループは、**部・課長相当の教務の運営を担う方々**を主な対象とし、参加者自身が希望した検討項目を中心に研修を行います。

<参考：昨年度の主な検討項目>

- 第三者評価・自己点検・評価（相互評価・外部評価ほか）
- 授業方法の改善（教員の意識改革、学生の満足度向上、学生の多様化への対応 ほか）
- 諸制度の導入（単位互換、インターンシップ、高大連携、遠隔授業、長期履修学生、センター試験導入 ほか）
- コミュニティ教育（地域総合科学科など）、保育者養成に係る諸問題、教務事務管理上の諸問題 ほか

【テーマB】 教務をめぐる諸問題について

入学から卒業まで多様な業務を担う教務事務をめぐる諸問題や、大学組織の中で占める教務事務のあり方など、日常業務の具体的な問題を踏まえながら検討します。

このグループは、**教務経験3年以上の中堅の方々**を対象とし、参加者から提起された問題を中心に討議します。

<参考：昨年度の主な検討項目>

- 履修関係（ガイダンス、登録時期・方法、キャップ制、トラブル対応 ほか）
- 授業・成績関係（月曜日の授業回数確保、時間割編成、シラバス活用、開講可能最低受講者数、他学科科目履修、出席管理、公欠、成績発表方法、成績管理の電算化状況、追・再試験の日程・方法 ほか）
- 諸制度の導入（単位互換、G P A制度の導入・効果、インターンシップ、高校との連携、遠隔授業 ほか）
- その他、退学者対応、教員と職員の役割分担、併設大学との事務分掌、保育者養成に係る諸問題 ほか

【テーマC】学校教育法・短期大学設置基準等と教務事務について

学校教育法・同施行規則、短期大学設置基準等の逐次解説と、それらが実際の教務事務遂行とどのような関わりを持つのか等について、研鑽を深めます。

このグループは、**教務経験1～2年の初心者**（過去、当研修会の初心者グループに参加したことのない方）で、設置基準等の法令と教務事務について勉強したい方々を対象とします。

また、講演や事例報告で取り上げられたテーマに関連させて、お互いが抱えている問題について意見交換をします。

1. 参加者は、テーマ毎に設定された対象者を確認のうえ、**A・B・C**のいずれかを選択してください。
2. テーマ**A**又は**B**を選択した場合は、希望する討議事項を参加申込書（個票）に記入してください。また、**C**を選択した場合は、情報交換したい事項を記入してください。
3. 参加者の希望討議事項及び会場のスペース等を考慮し、小グループを編成します。

★学内都合等で参加されない方は、選択の必要はありません。

グループ別研修の編成

当日持参するもの

参加者は、学則、その他教務関係諸規程等日常執務に用いる資料を持参してください。

経費

研修会所要経費は、次のとおりです。

研修会参加費	1人 24,000円 (第1,2日目の昼食代を含む)	参加者全員ご納入ください。 なお、第1部のみ参加の方も同額です。
情報交換懇談会費	1人 8,000円	研修会初日(10月12日)18:00から、2F「芙蓉」にて研修の一環として開催いたします。 是非ご出席ください。
合計	32,000円	

参加申込

参加申し込みには当たっては、事前に参加費等を（財）私学研修福祉会宛に銀行振り込みのうえ、所定用紙（別紙Ⅰ・Ⅱ）により、来る7月22日（金）までに日本私立短期大学協会「教務担当者研修会」宛（担当：中原）郵送必着にてお申し込みください。

なお、申し込み〆切期日以降は、受付いたしかねますのでご注意ください。

＜別紙「研修会参加申し込み方法及び参加費納入について」参照＞

<p>宿 泊</p>	<p>本研修会に伴う宿泊の斡旋はいたしません、会場の「大阪ガーデンパレス」に、優先的に宿泊ができるよう特約してあります。</p> <p>ご希望の方は、「私立短大教務担当者研修会」の参加者であることを申し添えて、7月22日（金）までに、下記の「大阪ガーデンパレス」に電話又はFAXにてお申し込みください。</p> <p>なお、収容定員に限度がありますので、早めにお申し込みください。</p> <p>また、各自適宜、市内のホテル等をご予約いただいても結構です。</p>
	<p><宿泊申込先></p> <p>「大阪ガーデンパレス」</p> <p>〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-3-35</p> <p>☎ 06-6396-6211</p> <p>FAX 06-6396-6220</p> <p>1人1泊料金（税・サービス料込） シ ン グ ル 6,300円</p> <p>2名1泊料金（税・サービス料込） ツ イ ン 11,600円</p> <p>—朝食別料金 1,000円（税・サービス料込）—</p>
<p>お 願 い</p>	<p>① 本研修会の「参加申込先」（本協会宛）、「参加費振込先」（研修福祉会宛）、それぞれ別になっておりますので、お間違いのないようお願いいたします。</p> <p>② やむを得ず参加者を変更される場合は、必ず新たに個票（別紙Ⅱ）をご記入のうえ、速やかに本協会事務局担当宛ご連絡ください。</p> <p>③ 受付は、研修会初日＜10月12日（水）＞「大阪ガーデンパレス」（2階ロビー）で、午前10時30分から11時まで行います。研修会資料を配付いたしますので、時間内にお済ませください。</p>

運営委員

1	委員長	坂田 正二	広島文化短期大学	理事長・学長
2	副委員長	土門久美子	白梅学園短期大学	企画調整部長
3	委員	三枝 和也	山形短期大学	教務課長
4	〃	小林 恵二	国際学院埼玉短期大学	教務課長補佐
5	〃	勝田 拓也	聖徳大学短期大学部	教務課長
6	〃	青木 弘美	青山学院女子短期大学	教務係長
7	〃	細山 順一	大妻女子大学短期大学部	教務課長
8	〃	菊地 渉道	淑徳短期大学	学務課長
9	〃	畑原 寿俊	昭和女子大学短期大学部	教育支援センター長
10	〃	武政 明子	東京家政大学短期大学部	教務課長
11	〃	遠藤 茂樹	日本体育大学女子短期大学部	入試広報室長
12	〃	大内 泰	目白大学短期大学部	教務課長
13	〃	八城 元	立教女学院短期大学	教務課長
14	〃	山本 将	岡崎女子短期大学	図書館次長
15	〃	村瀬 康弘	名古屋経済大学短期大学部	教務部長
16	〃	式庄 憲二	名古屋短期大学	教務課長
17	〃	高田 美恵子	華頂短期大学	教学事務部長
18	〃	廣兼 孝信	広島文化短期大学	教授

(順不同・敬称略)

平成17年度 私立短大教務担当者研修会「日程」

第1日：10月12日（水）

時刻	内 容	担 当	会 場
10:30	【受 付】 名札、研修会資料の受領	事務局	大阪ガーデンパレス 2階「芙蓉」
11:00	【開会挨拶】 坂田委員長(広島文化短期大学 理事長・学長)	司会：式庄委員	2階 「芙蓉」
11:10	【オリエンテーション】 土門副委員長 【委員会報告】 ① 教務必携「第10次改訂版」について 村瀬委員 ② 教務関係調査の分析及び集計結果 大内委員		
12:00	昼 食 ・ 休 憩		
13:00	【講演Ⅰ】 「第三者評価とこれからの短期大学」(仮題) — (財)短期大学基準協会の第三者評価を目指すもの— 坂田正二氏 (財)短期大学基準協会 副理事長・ 広島文化短期大学 理事長・学長	司会：畑原委員	
13:30	【講演Ⅱ】 「(財)短期大学基準協会の第三者評価を受けるにあたって」 — 自己点検評価報告書作成への取組み— 山下達哉氏 (東京富士大学短期大学部教授)		
15:00	休 憩		
15:30	【講演Ⅲ】 「我が国の短期高等教育の将来像」(仮題) — 新時代における教養教育のあり方 — 文部科学省 大学振興課長(予定)	司会：廣兼委員	
17:00	休 憩 ・ 移 動		
17:30	【情報交換懇談会】	司会：高田委員 遠藤委員	2階 「芙蓉」
19:30			

第2日：10月13日（木）

時刻	内 容	担 当	会 場
9:30	<p>【事例報告】</p> <p>「短期大学の更なる活性化を目指して」 —平成17年度の特色GP・ 現代GPプログラム採択校より—</p> <p>発表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特色GP採択校1校（予定） ・ 現代GP採択校1校（予定） 	司会：勝田委員	2階 「芙蓉」
11:30	昼 食 ・ 休 憩		
13:00	<p>【グループ別研修】</p>	司会：運営委員	各グループ別 研 修 会 場
	休 憩（各グループ毎に適宜）		
17:00			

第3日：10月14日（金）

時刻	内 容	担 当	会 場
9:30	【グループ別研修】 ===前日の続き===	司会：運営委員	各グループ別 研 修 会 場 (前日と同じ)
	休 憩 (各グループ毎に適宜)		
12:00	【まとめ・閉会】 (グループ毎に行う)		

研修会参加費納入及び参加申込方法について

「参加申込書」は日本私立短期大学協会宛にご送付願いますが、「参加費」の納入は銀行振込みにより、財団法人私学研修福祉会宛にご送金ください。

1. 参加申込方法

- (1) 私立短大教務担当者研修会参加申込書の「総括票」(別紙Ⅰ)には、必要事項を記入して、裏面に参加費の「振込金受取書」(振込用紙4枚目)を貼付のうえ、下記へご送付ください。
- (2) 私立短大教務担当者研修会参加申込書の「個票」(別紙Ⅱ)には、必要事項を記入して、同じく下記へご送付ください。
- (3) 参加申込〆切期日は、平成17年7月22日(金)です。厳守してください。
なお、申込みが〆切期日より遅れる場合は、予め、その旨を記して「参加申込書」のコピーをFAXでお知らせください。また、ご送金を先にされても参加申込書が締切期日を過ぎて到着し、かつ定員を超えている場合には、受付をいたしかねますので、参加申込書(別紙Ⅰ、Ⅱ)は、早めにご送付されるようご注意ください。

2. 参加費の納入方法

- (1) 参加費は全日程で1人32,000円です。同封の振込用紙(4枚綴)により、財団法人私学研修福祉会〔短大口〕＝(みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金口座 (207-1365150)へご振込みください。現金書留郵便又は直接の現金持参による参加費納入はご遠慮ください。
- (2) 参加者が2名以上の場合は、一括してご振込みください。
- (3) 「振込金領収書」(振込用紙3枚目)を以って、本研修会の参加費領収書に代えさせていただきます。別に日本私立短期大学協会からの領収書は発行いたしません。
- (4) 納入された参加費は、場合によっては返金できないこともあります。ご承知おきください。
- (5) 参加費は消費税分を含んでおりますので、税額控除の対象となります。振込金領収書は、大切に保存(7年間)してください。

参加申込先(連絡・問合せ)

日本私立短期大学協会「教務担当者研修会係」(担当 中原)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 (私学会館別館6階)

TEL (03)3261-9055 FAX (03)3263-6950

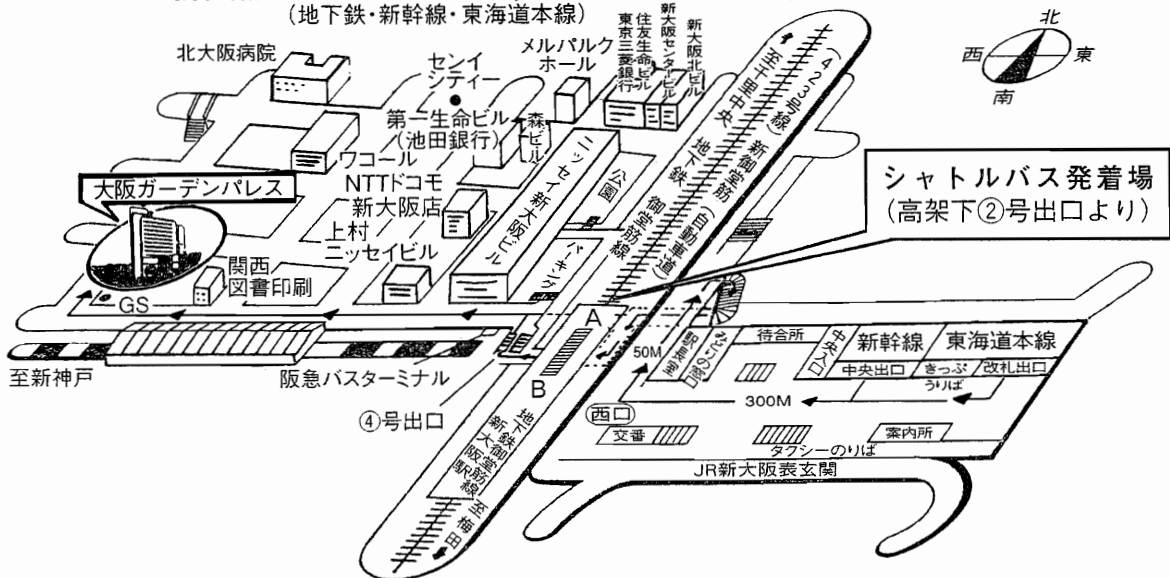
「大阪ガーデンパレス」

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35

電話 06(6396)6211

* 新大阪駅よりのご案内(シャトルバス・徒歩)*

(地下鉄・新幹線・東海道本線)



シャトルバス発着場
(高架下②号出口より)

* 大阪ガーデンパレスシャトルバスのご案内 *

◇地下鉄御堂筋線をご利用の場合

地下鉄ホームA・B階段を降り、改札口を出て右へ、②号出口階段を降りてすぐ左側です。
(梅田方面からは最前部、千里方面からは最後部の車両が便利です。)

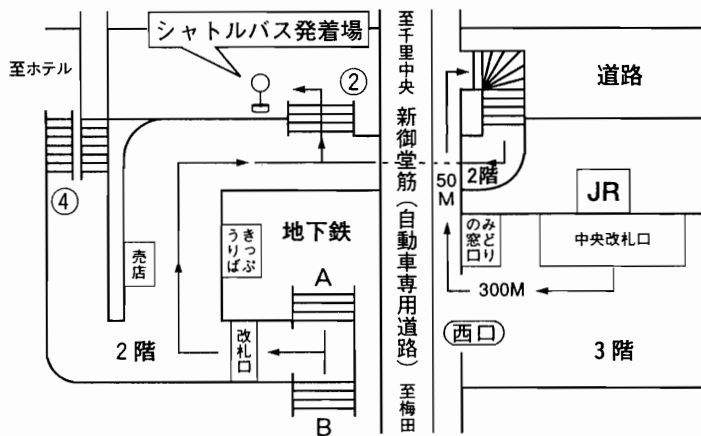
徒歩の場合④号出口より約8分

◇新幹線・東海道本線をご利用の場合

3階中央改札口を出て右へ約300M直進し、(西口)を出て右へ自動車専用道路沿いに直進、約50M先右側の連絡階段を降り、地下鉄②号出口階段を降りてすぐ左側です。

徒歩の場合(西口)より約10分

<新大阪駅発着場>



<シャトルバス時刻表>

年中無休

時刻	新大阪駅発	ホテル発
7時	40・55	30・45
8時	10・25・40	00・15・30・50
9時	00・20・40	10・30・50
21時		
22時	00・25	15

- ・所要時間は約3分ですが交通渋滞等により遅れる場合があります。
- ・乗車定員は23名です。満員の際は次便をご利用ください。

別紙Ⅰ

平成17年度「私立短大教務担当者研修会」参加申込書（総括票）

締切 7月22日（金） [必着]

- この総括票は、締切日を過ぎて到着した場合受付いたしかねますので、ご注意ください。
- 必ず、参加者数分の別紙Ⅱ（個票）と一緒に送りください。

都道府県名	整理番号
	※

※欄は記入しないでください

短期大学名	短大所在地
	〒 Tel ()

本学から_____名、下記のとおり参加の申し込みをいたします。

参加者氏名	所属部署名 (学内職名)	グループ別研修	
		出欠	研修テーマ
	()	参加 不参加	A・B・C
	()	参加 不参加	A・B・C
	()	参加 不参加	A・B・C

〔記入上の注意〕

- (1) グループ別研修テーマ欄は、実施要領または個票裏面をご参照のうえ、A・B・Cから希望するテーマを選び、○で囲んでください。
- (2) この総括票の裏面に、参加費の「振込金受取書」（振込用紙の4枚目）を貼付のうえ、別紙Ⅱの個票と一緒に下記宛先まで送りください。
- (3) 連絡事項がありましたら、裏面の通信欄にご記入ください。

送り先 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25（私学会館別館）
日本私立短期大学協会 「教務担当者研修会」係

別紙Ⅱ

平成17年度「私立短大教務担当者研修会」参加申込書（個票）

締切 7月22日（金） [必着]

この個票は、参加者全員が必ず提出してください。また、申込には別紙Ⅰ（総括票）と一緒に送ってください。

都道府県名	整理番号
	※

※欄は記入しないでください

短期大学名			(フリガナ) 参加者氏名			
			()			
専攻科	(学位授与機構認定)	第二部	所属部署名 (学内職名)	職種	勤務年数	教務経験年数
有・無	有・無	有・無	()	教員 職員		
併設高校	併設大学	併設大学の教務も担当	E-mail アドレス 任意記入(情報交換に利用)	グループ別研修		
有・無	有・無	有・無		出欠	研修テーマ	
				参加 不参加	A・B・C	

* グループ別研修テーマA又はBを希望

- ◆ 裏面(昨年度の主な検討事項)をご参照いただき、今回討議したい事項がありましたら下記にご記入ください。
- ◆ 幼・保の養成課程設置短大の方は、グループ編成に可能な限り配慮したいと考えておりますので、学科名あるいは専攻名を下記1)欄にご記入ください。

* グループ別研修テーマCを希望

- ◆ 裏面をご参照いただき、今回情報交換したい事項があれば下記にご記入ください。

* グループ別研修では、文科省大学振興課の短期大学係担当官の巡回指導を予定しています。同担当官に対するご質問・ご要望等がございましたら、予め、3)欄にご記入ください。

1)

2)

3)

〔記入上の注意〕

- この個票はグループ別研修の編成の際、参考にしますので、参加者自身が必ずご記入ください。
ご記入された参加者氏名・職名・E-mailアドレス(任意)を参加者名簿に記載しますので予めご了承ください。
- 「専攻科」から「併設大学の教務も担当」欄までは、該当する有または無を○で囲んでください。
- グループ別研修テーマ欄は、裏面をご参照のうえ、A・B・Cから希望するテーマを○で囲んでください。
- 締切後、参加者の変更が生じた場合、グループ別研修テーマの変更には応じかねますので、ご了承ください。

●グループ別研修

テーマ	内 容
A	<p><u>短期大学設置基準と教務運営上の諸問題について</u></p> <p>短期大学設置基準等の改正に伴い、学則や学内諸規程を整備していくうえで問題となる事項、短期大学における教務運営のあり方等、教務をめぐる諸問題について検討します。</p> <p>このグループは、部・課長相当の教務の運営を担う方々を主な対象とし、参加者自身が希望した検討項目を中心に研修を行います。</p> <p><参考：昨年度の主な検討項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第三者評価・自己点検・評価（相互評価・外部評価 ほか） ○ 授業方法の改善（教員の意識改革、学生の満足度向上、学生の多様化への対応 ほか） ○ 諸制度の導入（単位互換、インターンシップ、高大連携、遠隔授業、長期履修学生、センター試験導入 ほか） ○ コミュニティ教育（地域総合科学科）、保育者養成に係る諸問題、教務事務管理上の諸問題 ほか
B	<p><u>教務をめぐる諸問題について</u></p> <p>入学から卒業まで多様な業務を担う教務事務をめぐる諸問題や、大学組織の中で占める教務事務のあり方など、日常業務の具体的な問題を踏まえながら検討します。</p> <p>このグループは、教務経験3年以上の中堅の方々を対象とし、参加者から提起された問題を中心に討議します。</p> <p><参考：昨年度の主な検討項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 履修関係（ガバナンス、登録時期・方法、キャップ制、トラブル対応 ほか） ○ 授業・成績関係（月曜日の授業回数確保、時間割編成、シラバス活用、開講可能最低受講者数、他学科科目履修、出席管理、公欠、成績発表方法、成績管理の電算化状況、追・再試験の日程・方法 ほか） ○ 諸制度の導入（単位互換、GPA制度の導入・効果、単位互換、インターンシップ、高校との連携、遠隔授業 ほか）
C	<p><u>学校教育法・短期大学設置基準等と教務事務について</u></p> <p>学校教育法・同施行規則、短期大学設置基準等の逐次解説と、それらが実際の教務事務遂行とどのような関わりを持つのか等について、研鑽を深めます。</p> <p>このグループは、教務経験1～2年の初心者（過去、当研修会の初心者グループに参加したことのない方）で、設置基準等の法令と教務事務について勉強したい方々を対象とします。</p> <p>また、講演や事例報告で取り上げられたテーマに関連させてお互いが抱える問題について意見交換をします。</p> <p>なお、テキストは、当日資料として配付する「短期大学教務必携」を使用し、時間の許す限り情報交換も行う予定です。</p>